

【全国発信記事】 大阪支部 大阪市へ申し入れ

大阪支部は、第82回定期全国大会の決定事項に基づき、令和3年12月23日に大阪市に対し、申し入れを行った。今後も引き続き活動方針の具現化に向け、活動を行っていく

大阪水上バス株式会社の清家将之専務取締役が同行し、佐藤宗昭大阪支部長から申し入れ文書を手渡すとともに、趣旨と内容を説明し、意見交換で理解を深めた。

申し入れの内容は、

- ▽新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける事業者に対する運航支援策
- ▽港湾施設の強化・改修、港湾使用料の見直しについて
- ▽日本人船員の重要性と船員税制の早期実現について
- ▽船員確保に向けた海事思想教育の普及について
- ーなど

《大阪市》から示された見解

フェリー・観光船の重要性は十分に理解しており、大阪府と連携して支援策を模索していきたい。

▽港湾使用料について

支払い猶予期間を年度末まで延長している

▽減免について

LNG燃料を使用し環境面での配慮を行う船舶に対する減免制度を検討している

▽船員税制について

趣旨は理解するが、実施することは難しいと考える

▽海事思想の普及活動について

教育委員会とも連携しできることを模索していきたい

「海員だより」